

令和5年度

事業概要

介護老人福祉施設 高浜安立荘

高浜安立荘 通所介護事業所

高浜安立荘 居宅介護支援事業所

いこいの宿 高浜安立

(地域密着型サテライト型特別養護老人ホーム)

社会福祉法人 昭徳会 基本理念

しあ わせ

「 幸 福 」

社会福祉法人 昭徳会 基本方針

- 1 ひとりひとりに、思いやりの心を持って接します
- 2 ひとりひとりを尊重し、その人に合った支援援助をします
- 3 ひとりひとりを大切に、まごころで接します
- 4 わたしたちは、すべての人の幸福を目指し、たゆみなく援助技術の向上に努めます
- 5 わたしたちは、お互いに助け合い、よりよい生活ができるよう努めます

職員行動指針

- 第1条(対人援助) いつも笑顔で接します
- 第2条(思いやり 素直さ) 謙虚な姿勢で接します
- 第3条(共感) 同じ目線で向き合います
- 第4条(仕事への姿勢) いつも前向きに取り組みます
- 第5条(自己研鑽) 学ぶ姿勢を持ち続けます
- 第6条(地域貢献) 地域との繋がりを大切にします
- 第7条(健康管理) 心と身体を大切にします
- 第8条(問題解決) 小さな気づきを大切にします
- 第9条(連携 チームワーク) チーム力を高めます
- 第10条(感謝) 感謝の気持ちで接します

目次

1	施設・事業所の概要	1
(1)	施設・事業所の種別、定員、開始年月日	1
(2)	所在地及び連絡先	2
(3)	建物の構造及び規模	2
(4)	施設平面図	3
2	組織体制図	4
3	令和4年度事業報告	5
4	令和5年度事業計画	7
5	高浜安立荘実績報告	10
(1)	延入所者数・充足率	10
(2)	入退所者状況	10
(3)	年齢別入所者数	11
(4)	平均在所期間	11
(5)	契約者の状況	11
(6)	稼働状況考察	11
(7)	年間入院者数	12
(8)	疾患別入院者数	12
(9)	施設内での看取り	12
(10)	その他の年間事業実績	12
(11)	看護事業まとめ	12
(12)	栄養管理事業報告	13
(13)	職員研修参加一覧	14
(14)	委員会報告	16
(15)	令和5年度施設内会議・委員会	17
6	通所介護実績報告	20
7	居宅介護支援事業実績報告	26
8	サテライト型特養いこいの宿高浜安立実績報告	30
9	交通のご案内	

1. 施設・事業所の概要

(1) 施設・事業所の種別、定員、開始年月日

○【介護老人福祉施設】特別養護老人ホーム高浜安立荘

定員 120名

開始年月日 平成5年4月12日

○【知的障害者短期入所事業】特別養護老人ホーム高浜安立荘

定員 特別養護老人ホームの空きベッドを活用

開始年月日 令和3年12月1日

※令和4年度の事業実績はありません。

○【通所介護】高浜安立荘デイサービスセンター

※特別養護老人ホーム高浜安立荘併設事業

定員 40名

開始年月日 平成5年7月1日

○【居宅介護支援】高浜安立荘居宅介護支援事業所

※特別養護老人ホーム高浜安立荘併設事業

開始年月日 平成12年4月1日

○【サテライト型地域密着型介護老人福祉施設】地域密着型サテライト型特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立

定員 20名

開始年月日 令和3年4月1日

○【知的障害者短期入所事業】地域密着型サテライト型特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立 共生型短期入所（空床利用型）

定員 サテライト型地域密着型特別養護老人ホームの空きベッドを活用

開始年月日 令和3年10月1日

※令和4年度の事業実績はありません。

(2) 所在地及び連絡先

特別養護老人ホーム 高浜安立荘

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目 2 番地 7 3

Tel:0566-52-5050 Fax:0566-52-5599

E-mail:tokuyou@takahama-anryusou.com

ホームページ URL <https://tokuyo.anryuso.org/>

高浜安立荘デイサービスセンター

Tel:0566-52-5517 Fax:0566-52-5599

E-mail:anryuday77@miracle.ocn.ne.jp

ホームページ URL <https://day.anryuso.org/>

高浜安立荘居宅介護支援事業所

Tel:0566-52-9875 Fax:0566-52-5583

E-mail:kyotaku@takahama-anryusou.com

※ホームページは高浜安立荘と共通

地域密着型サテライト型特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町三丁目 1 番地 6

Tel:0566-54-0522 Fax:0566-54-0523

E-mail:ikoi-takahama.anryu@extra.ocn.ne.jp

ホームページ URL <https://ikoi.anryuso.org/>

(3) 建物の構造及び規模

特別養護老人ホーム高浜安立荘

鉄筋コンクリート造地上 2 階建て 5,024.16 m²

建物延面積 特別養護老人ホーム高浜安立荘 4,562.18 m²

高浜安立荘デイサービスセンター 395.18 m²

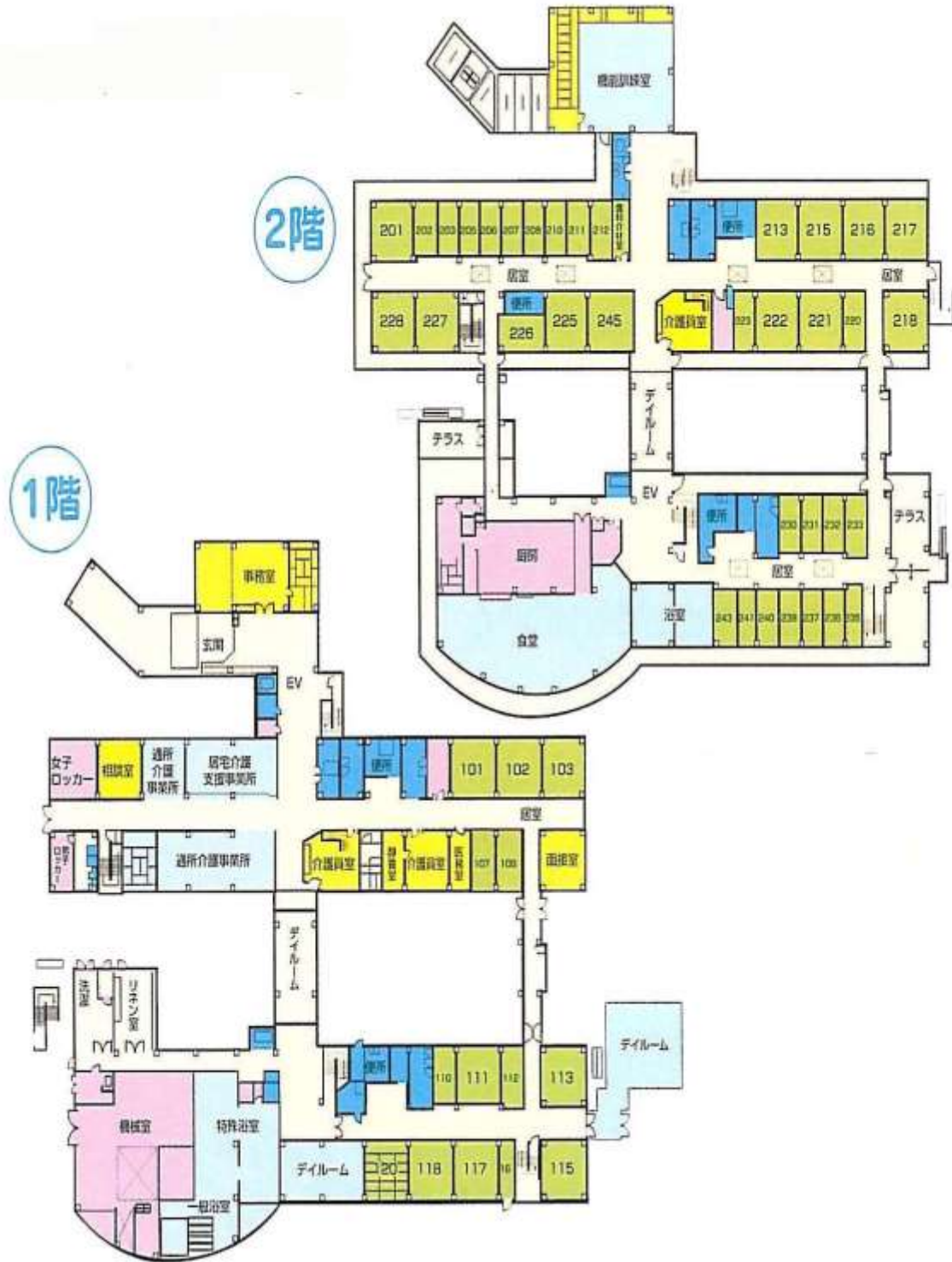
高浜安立荘居宅介護支援事業所 66.8 m²

地域密着型サテライト型特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立

鉄骨造 地上 2 階建て 848.30 m²

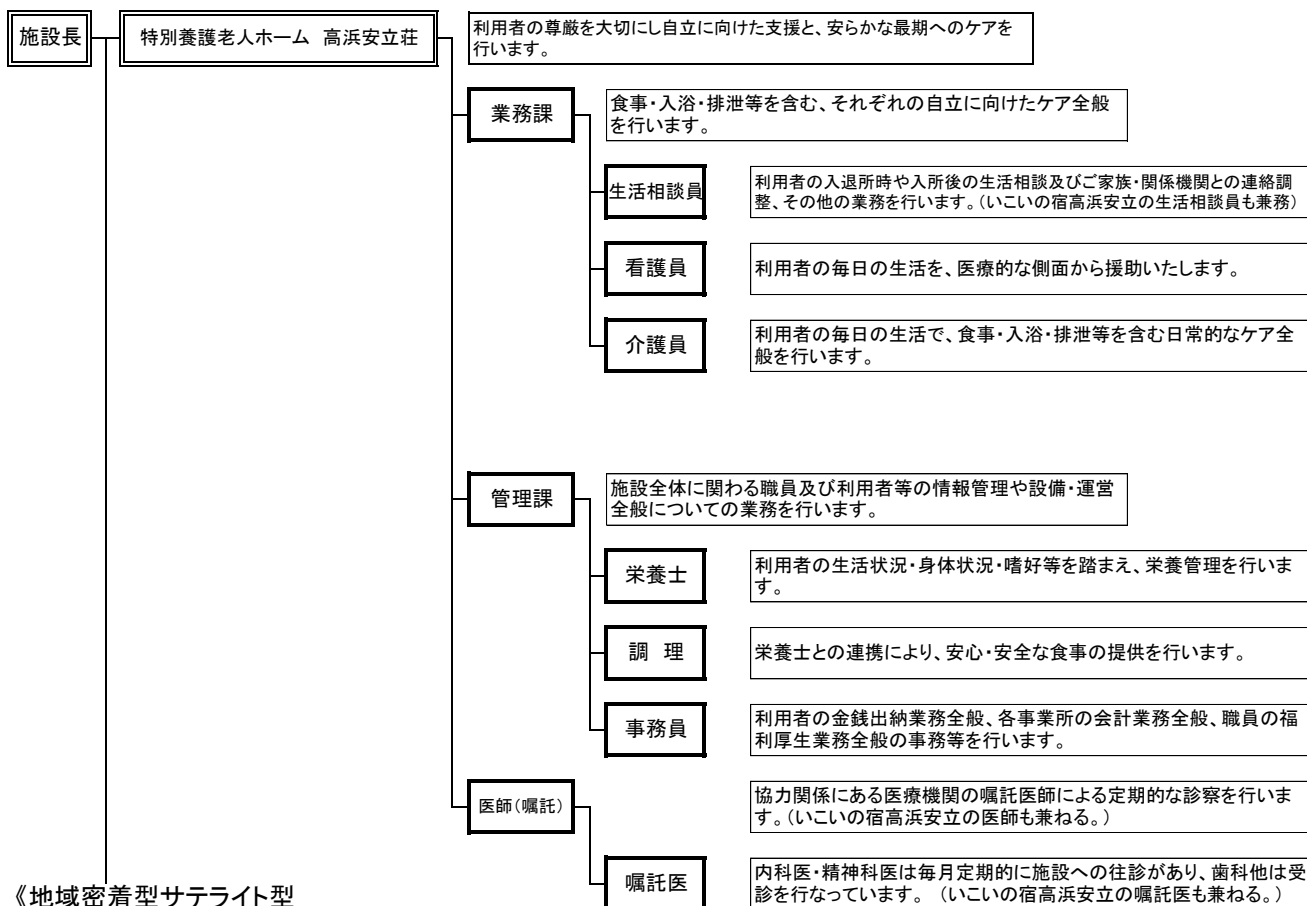
(4)

施設平面図

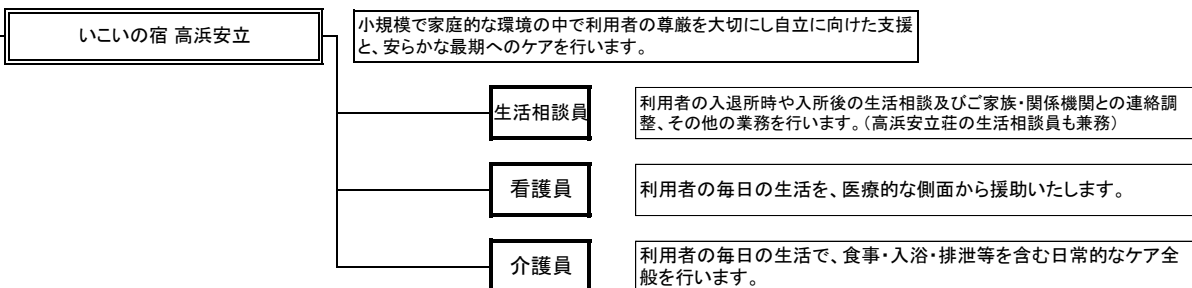


2. 組織体制図

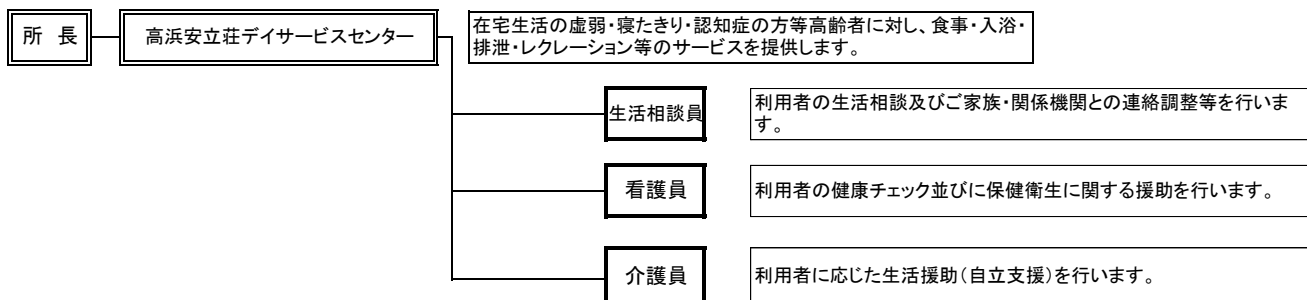
《特別養護老人ホーム高浜安立荘》



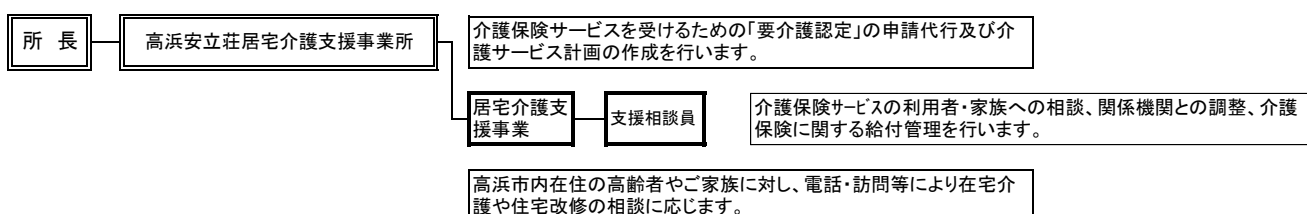
《地域密着型サテライト型特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立》



《高浜安立荘デイサービスセンター》



《高浜安立荘居宅介護支援事業所》



令和4年度 事業報告書(高浜安立荘)

1. 「基本理念」等の実践により、やりがいを持って働き続けられる職場を目指す

(1) 福祉人としての内的価値を高められるよう資格の取得を折に触れ職員に進めてきた結果、社会福祉士1名、介護福祉士2名、介護支援専門員2名合格者を出すことができた。喀痰吸引の資格取得についても施設にて該当者を確認し、受講させてきた。また技能実習生が介護福祉士受験資格を得るために実務者研修を受講している。

(2) 愛知県老人福祉施設協議会で開催している「介護力向上講習会」に年間を通して参加し、施設の中でも各グループの委員が中心となってデータのとりまとめ等を行ってきた。新人職員についても入職時の研修やOJTにより指導され、施設全体で水分量、排泄状況、歩行距離等の根拠に基づいた考察を続け、利用者の機能維持のため取り組んできた。途中、新型コロナウイルスのクラスターとなってしまったため、利用者の健康面について大きなダメージを受け後退した部分もあるが、平常に戻ったのちには継続実施できている。

2. 外部に発信する機会を増やし、施設の存在価値を高める

(1) 自施設の取り組みを伝える場として「高浜安立荘市民セミナー」を開催予定ではあったが、新型コロナウイルス感染症の流行により開催時期を逃してしまった。しかし高浜市の公開研修を主催し、高浜市内の介護保険事業所を対象として令和5年度末までに作成義務がある「感染症のBCP作成研修」を日本福祉大学看護学部教授を招いて実施することができた。

(2) ホームページの見直しについては、今年度広報委員会を立ち上げ、どのようなホームページを作りたいか職員の意見を募り、年度末に完成することができた。現代の動きに合わせスマートフォンでも見やすいホームページとし、専門家の意見も入れて採用等にも効果的な内容とすることができた。今後は新しい情報を常に更新できるよう次年度の委員会の中で役割分担を行い、体制を整えていく予定である。

(3) 外部に出ていく場面として、職員が愛知県社会福祉協議会主催の「認知症介護実践者研修」の講師やファシリテーターとして取り組んだり、日本福祉大学の講師を依頼されたりして、高浜安立荘の職員として発信する機会を得た。また当施設で取り組んでいる「自立支援介護」の認定講師を務めている職員もいて、講師として毎月の研修会に参加してきた。

その他、製品開発を試みる業者に対し、介護職員のリーダー、サブリーダークラスの職員が介護員としても専門職としての意見を伝える機会を持ったり、介護初任者研修の講師として外部で介護人材のすそ野を広げる取り組みを行ったりすることができた。介護職員として外部で講師等をする機会は学びを深めるだけでなく、自分たちの仕事に対する誇りを持つ意味でも貴重な体験であると思われたため、今後も積極的にこのような機会に出会った際は参加させていきたい。

また、高浜安立荘デイサービスセンターでは回想法の取り組みについて雑誌の取材やテレビの取材を受ける機会を持った。回想法については他施設にない取り組みであり、長年継続実施してきた取り組みであるため、引き続き積極的にアピールしていき、職員のモチベーションの向上に繋げていきたい。

3. 職員のコミュニケーション技術の向上を図る

(1) 「育成」を主眼としてグループ内で上司と一般職員が面談できる機会を増やすよう、会議の場面で繰り返し伝えてきた。人員不足もあり、結果として実施できたグループとそうでないグループができてしまったが、実施してきたグループについては一般職員の満足度も高く、リーダー、一般職共に成長を感じられる職員もいた。この結果をフィードバックし、実施できなかったグループも次年度は取り組むよう引き続きの計画としていく。

(2) 令和3年度まで実施してきたコーチング研修、アンガーマネジメント研修については新型コロナウイルス感染症拡大により開催することができなかった。

4. 不採算事業の見直しと労働環境の改善を図る

(1) サービス活動増減差額0を目指し、高浜安立荘・いこいの宿で97%稼働を目標としてきたが、いこいの宿で8月の新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、同じく高浜安立荘でも年末から1月中にかけて大規模クラスターとなり、結果いずれも90%前半の稼働率となり、全く目標に届くことができなかった。

デイサービスについては、令和3年度の稼働状況が悪く、他事業への転換も視野に入れた運営をしてきたが、今年度は積極的な受け入れを行い、目標である平均24人を達成することができた(令和3年度 21.7人)。取り組みを広くアピールすることで高浜市内のニーズはあると判断できたため、次年度は27人を目標に設定していくが、中期的には養護老人ホームデイサービスセンターの建て替えもあり、事業の見直し又は併合等を検討していく必要があると考えられる。

居宅介護支援事業については、丁寧な支援を行うことで評価は高いものの、給付件数は昨年度から大きく伸びることはなく予防も含め89.7件で、担当者一人当たり37件(合計111件)にはとても及ばなかった。

(2) 介護職員の充足状況については、高浜安立荘で4月に常勤介護員が3名、5月に1名、1月・3月に各1名入職した。また技能実習で入国した1期生が特定技能に移行し、3月下旬には3期生となる技能実習生が職場に配属された。しかし退職者もあり、依然介護職員は不足しており、不足分は非常勤職員の採用や派遣職員で補ってきている。いこいの宿も同様で、常勤介護員2名が産休・育休に入ったため、特養から1名介護員を異動させ、不足分については派遣を入れて補充してきた。

(3) 労働環境としては、高浜安立荘で機械浴を導入し重度の方が安全に、また職員の負担軽減を図り入浴できる体制を築いた。いこいの宿では令和3年度に館内のWiFi環境を整えたため見守りセンサーの介護ロボットの導入を検討したが、導入までには至らず今後の持ち越しとなった。

5. 修繕の優先順位を決め、計画的な実施を行う

高浜安立荘の建物診断で見つかった、天井の非常照明不具合を、非常時に備え優先的に実施した。また、年度後半に1階北側の空調の断熱材張り替え工事を予定通り実施した。厨房機器についても年度計画通り更新を行いリース契約としていった。

いこいの宿では急激な大雨による浸水被害が2回発生してしまった。土地が低いことと急激な雨量の増大に排水が追い付いていないための結果であり、早急に対応策を検討し、排水ポンプを増設した。とりあえずの対策となったため、今後は根本的な対応を考えていきたい。

6. 様々な危機的な状況でも事業継続できる体制作り

(1) 年間で計画した防災訓練を実施し、法人で作成した災害用の業務継続計画(BCP)の更新を行った。

(2) 感染症にかかる業務継続計画(BCP)は高浜安立荘分がほぼ作成できたが、いこいの宿やデイサービスについて次年度中に作成していく。また訓練についても感染症委員会を中心に実施したが、次年度以降も引き続き実施していく。

(3) コロナ禍で数年実施できなかった不審者等の侵入を想定した防犯訓練を、碧南警察署の協力の下実施できた。防火シャッターを下ろし犯人役を建物の奥に入り込ませない対策を考えていたが、全く役に立たないなど、想定と違う状況も見られたため、引き続き訓練を重ねながら精度の高いものにしていきたい。

(4) 令和3年度に介護現場におけるハラスメント対策を講じるよう義務付けをされた中に、カスタマーハラスメントについては防止のための方針の明確化等の必要な措置を講じることが推奨されたことから、10月の全体会議の中でカスタマーハラスメントの研修会を実施した。

令和5年度 事業計画書(高浜安立荘)

1. 事業運営基本計画(事業目標)

- (1) 「基本理念」等の実践により、やりがいを持って働き続けられる職場を目指す
- (2) 外部に発信する機会を増やし、施設の存在価値を高める
- (3) 不採算事業の見直しと労働環境の改善を図る
- (4) 修繕の優先順位を決め、計画的な実施を行う
- (5) 様々な危機的状況でも事業継続できる体制を作る

2. 具体的計画

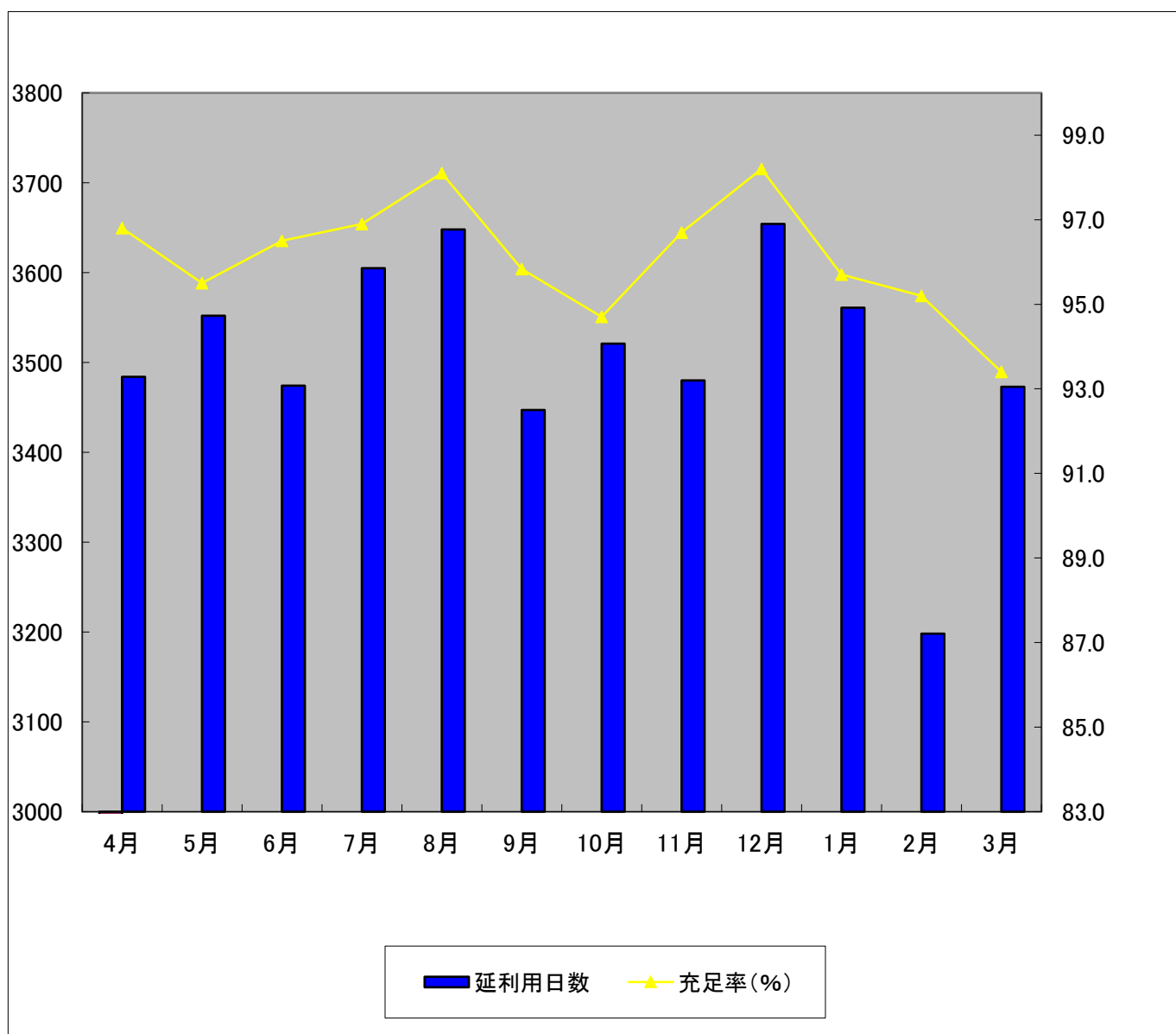
- (1) 「基本理念」等の実践により、やりがいを持って働き続けられる職場を目指す
 - ①福祉人として職員の内的価値を高められるよう、引き続き資格取得を推進していく
 - ②利用者に喜ばれる存在になれるよう各自の力量や得意分野を活かし、資質の向上を支援する
 - ③科学的根拠に基づく介護を目指し、良質な福祉サービスを提供する
- (2)外部に発信する機会を増やし、施設の存在価値を高める
 - ①施設の取り組みを知っていただく機会やセミナーを開催する
 - ②昨年度ホームページの見直しを行った。今年度は新鮮味のある情報を定期的に外部に発信していくよう、広報委員会を中心に役割分担し、継続維持できる体制を作り上げる。また、作成したパンフレットを必要とする方々に配り、高浜安立荘の取り組みを広く知っていただく。
 - ③各職員が外部に出て、自施設の取り組みの場をもつことや各自の力量を発揮できる機会を推奨する
- (3)不採算事業の見直しと労働環境の改善を図る
 - ①各サービス区分でのサービス活動増減差額0を達成する。
 - ア.高浜安立荘で稼働率97%、・いこいの宿も稼働率97%を達成する
 - イ.デイサービスセンターについては、平均稼働率を27人/日以上としていくと共に送迎車の新規購入のための資金確保を行う
 - ウ.居宅介護支援事業所は、各自の担当ケースを37件目標とし、特定事業所加算が取れる人員配置にしていく
 - ②特養介護員の採用を積極的に行い、利用者へのサービス向上に努めると共に、新規の技能実習生を2~3名受け入れていく。
 - ③ICT・介護ロボットの導入を積極的に検討する
 - ④看護師のオンコール体制について外部委託導入の検討を行う
- (4)修繕の優先順位を決め、計画的な実施を行う
 - ①築30年となる高浜安立荘においては、建て替えまでの20年が維持できるよう修繕を計画的に行う
令和5年度には屋上防水工事、空調の配管断熱材の張り替え2階部分を実施予定。
また、エレベーターや厨房機材、業務用洗濯機・電話機・ナースコール基盤の更新を検討していく。
 - ②いこいの宿の外壁塗装、ナースコール基盤更新
- (5)様々な危機的状況でも事業継続できる体制作り
 - ①年間で計画した防災訓練の実施と業務継続計画(BCP)の更新
 - ②感染症にかかる業務継続計画(BCP)の策定と訓練の実施
 - ③不審者等の侵入を想定した防犯訓練の実施
 - ④カスタマーハラスメント対策マニュアル・研修の実施

特別養護老人ホーム高浜安立荘

5. 高浜安立荘実績報告(令和4年度)

(1)延入所者数・充足率

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用日数	3,271	3,507	3,446	3,585	3,597	3,460	3,443	3,363	3,383	3,128	2,871	3,207	40,261
充足率(%)	90,9	94,3	95,7	96,4	96,7	96,1	92,6	93,4	90,9	84,1	82,5	86,2	91,6



(2)入退所者状況

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者数	3名	4名	2名	1名	1名	2名	6名	1名	1名	0名	2名	9名	32名
退所者数	0名	2名	1名	1名	2名	5名	4名	3名	5名	6名	4名	3名	36名

(3)年齢別入所者数(令和5年3月31日現在)

年齢 性別	在所者数	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100 歳～	平均 年齢
男性	28名	0名	0名	0名	0名	8名	10名	2名	5名	3名	0名	0名	79.8歳
女性	81名	0名	0名	1名	0名	3名	8名	18名	18名	27名	6名	0名	86.6歳
合計	109名	0名	0名	1名	0名	11名	18名	20名	23名	30名	6名	0名	84.9歳

(4)平均在所期間(令和5年3月31日現在)

項目 性別	入所者数	平均在所期間
男性	28名	3年8か月
女性	83名	4年3か月
平均		4年1か月

(5)契約者の状況(令和5年3月31日現在)

契約者	配偶者	子	子の 配偶者	孫	兄弟 姉妹	甥・姪	父母	福祉 事務所	成年 後見人	その 他	合計
合計	13名	76名	6名	1名	9名	1名	0名	0名	1名	4名	111名

(6)稼働状況考察

今年度の稼働率は91.6%で前年度に比べて4.6%下降した。要因としては、12月下旬から始まった新型コロナによるクラスターが終息までに約2か月掛かり、入所の調整ができなかったことによるものと考えられる。また、延べ入院日数が前年度に比べて約600日増加したことも考えられる。入所申込は毎月コンスタントに頂いている状況であるため、時期による退所者数を見据えた入所調整を行ない目標の達成を目指していきたい。

(7) 年間入院者数

項目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数(人)	15	15	8	8	6	6	8	9	10	16	12	6	119
延日数(日)	175	127	90	72	88	52	105	123	162	252	185	38	1469

(8) 疾患別入院者数

	実人数(人)	延日数(日)	平均日数(日)
肺炎(誤嚥性肺炎を含む)	40	578	14.15
骨折	7	88	12.6
心不全	1	14	14
脳血管障害	5	56	11.2
精神科	2	89	44.5
その他	61	644	10.6
合計	116	1469	

- * 誤嚥性肺炎は、嚥下機能の低下や新型コロナ罹患後に発症する方が多かった。
- * 脳梗塞による入院者も多くみられ、長期間に亘る入院となった。

(9) 施設内での看取り

主な疾患(死因)	肺炎	誤嚥性肺炎	脳血管障害	脳血管性認知症	悪性腫瘍	老衰	その他	合計
人数 (人)	0	4	0	0	2	8	2	16

- * コロナ罹患後の誤嚥性肺炎や身体レベル低下による老衰の方が多くみられた。

(10) その他の年間事業実績

令和4年4月度	◇新人介護員対象「急変時の勉強会」 ◇面会制限 ◇職員のマスク着用励行
5月度	◇利用者健康診断
6月度	◇利用者健康診断
7月度	◇職員健康診断
8月度	◇職員健康診断
9月度	◇レジオネラ菌検査(1回目) ◇たん吸引等の実地研修
10月度	◇外来者への手指消毒とマスク着用励行 ◇たん吸引等の実地研修
11月度	◇加湿器設置 ◇たん吸引等の実地研修
12月度	◇インフルエンザワクチン接種 ◇たん吸引等の実地研修
令和5年1月度	
2月度	◇たん吸引等の実地研修 ◇利用者、職員のコロナワクチン接種3回目
3月度	◇レジオネラ菌検査(2回目) ◇たん吸引等の実地研修 ◇夜勤従事者健康診断

(11) 看護事業まとめ

12月末月より1月末まで大規模なコロナ罹患あり、その後身体状況が悪化する方も1割程おられた。インフルエンザ罹患者はみられなかった。

(12) 栄養管理事業報告(令和4年度)

① 栄養摂取状況と献立作成における各種栄養素の考え方

栄養素名 (単位)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	施設基準量
エネルギー kcal	1581	1536	1636	1694	1676	1727	1685	1680	1665	1680	1684	1656	1658	1600
たんぱく質 g	59.6	60.4	63.2	63.9	64.3	63.8	64.1	64.2	66.1	63.6	62.8	61.9	63.2	60.0
脂質 g	40.1	47.9	44.5	47.6	47.1	47.7	47.4	46.5	44.9	46.0	48.1	46.1	46.2	45.0
炭水化物 g	243.9	242.5	258.4	264.5	261.1	273.1	263.0	263.0	261.3	265.3	263.1	262.1	260.1	240.0
カリウム mg	1969	1835	2035	2046	2010	2082	2073	2116	2081	2083	2079	2052	2038	2200
カルシウム mg	363	369	484	482	487	491	485	488	491	496	477	463	465	660
鉄 mg	7.4	7.4	8.0	8.3	8.0	8.1	8.7	8.2	8.5	8.2	8.1	7.7	8.1	6.5
ALチノール μg	423	393	432	489	426	469	524	510	458	470	479	465	462	700
ビタミンB1 mg	0.73	0.74	0.81	0.82	0.81	0.78	0.85	0.81	0.79	0.77	0.81	0.81	0.79	1.00
ビタミンB2 mg	0.76	0.77	0.94	0.93	0.92	0.97	0.99	1.02	0.93	0.91	0.96	0.90	0.92	1.20
ビタミンC mg	86	84	92	78	93	83	96	87	92	84	90	89	88	100
塩分相当量 g	5.9	6.3	6.4	6.8	6.3	6.9	6.0	7.0	6.0	6.5	6.0	6.2	6.4	8g以下

② 給食数(令和5年3月31日現在)

普通食	37人
軟菜食	28人
ソフト食	43人
経管	2人
合計	110名

③ 給食提供時間

朝食	7:30
昼食	12:30
夕食	17:30

④ 運営状況

運営方法	直営
------	----

⑤ 行事食

5月	5日 助六寿司、赤魚の粕漬け、抹茶ゼリー、吸い物	(おやつ) 季節の和菓子(真鯉)
7月	7日 七夕ちらし、星型ハンバーグ、フルーツポンチ、吸い物	(おやつ) 季節の和菓子(願いの星)
	23日 鰻ちらし寿司、青梗菜の辛子和え、抹茶ゼリー、すまし汁	
9月	19日 赤飯、天ぷら盛り合わせ、ほうれん草のごま和え、抹茶ゼリー、吸い	(おやつ) 季節の和菓子(鶴亀の舞)
	23日 (おやつ) お彼岸用生和菓子	
10月	31日 ハロウィンのかぼちゃキーマカレー、赤玉ねぎとコーンのサラダ、かぼちゃプリン、ポタージュスープ	
12月	24日 リースチキンライス、星のハンバーグ、春雨サラダ、いちごショートケーキ	(おやつ) サンタのチョコムース
	25日 ご飯、鶏肉のトマトソースかけ、ポテトツリーサラダ、抹茶ゼリー、コン	(おやつ) サンタの3色プリン
	31日 年越しそば、京風玉子焼き、いんげんのごま和え、青りんごゼリー	
1月	1日 赤飯、天ぷら盛り合わせ、紅白なます、和風栗プリン、お雑煮風	(おやつ) 季節の和菓子(祝いの菓)
	2日 海鮮ちらし、筑前煮、厚焼き玉子(寿)、吸い物	(おやつ) 蒸し饅頭
	3日 ごはん、煮しめ、酢れんこん、黒ごまプリン、味噌汁	(おやつ) だら焼き
	7日 七草粥、白身フライ、ほうれん草ときのこのバター醤油炒め、抹茶ゼリー、味噌汁	
2月	3日 助六寿司、いわしつみれの煮物、ほうじ茶プリン、鬼除け汁	(おやつ) 季節の和菓子(赤鬼)
	14日 ごはん、ハートのハンバーグ、ミモザサラダ、フルーツポンチ、春雨スープ	(おやつ) 季節の和菓子(バレンタインハート)
3月	3日 えびのちらし寿司、筍とふきの煮物、ひなまつり3色スイーツ、すまし汁	(おやつ) 季節の和菓子(女雛)

⑥ 水分補給

自立支援の取り組みで食事に含まれる水分以外に1人1日1500ml以上を目標に水分提供を行っている。

⑦ 常食移行への取り組み

介護力向上講習会において、常食がもっとも安全な形態であり、口腔機能が回復する訓練食であることを学び、平成25年度より本格的に常食化への取り組みを行っている。刻み食やミキサー食を廃止し、それに替わる形態として新軟菜食やソフト食を取り入れ、普通食・新軟菜食・ソフト食と硬さを3段階に分けて提供している。

⑧ イベント食

各グループで2か月に1回、調理員がデイルームへ出向き、ご利用者の目の前で調理し、できたてを食べていただいている。五感を使って楽しんでいただくことや外出に行く機会のない方にも普段と違った雰囲気味わっていただきそして、常食移行へのきっかけ作りを目的に実施している。

葵・亀横丁・いこい	鶴・昭和横丁・スター
4月 にぎり寿司	5月 にぎり寿司
6月 うどん	7月 うどん
8月 ロールパンサンド	9月 ロールパンサンド
10月 だし巻き卵	11月 だし巻き卵
12月 にぎり寿司	1月 にぎり寿司
2月 手作りコロッケ	3月 手作りコロッケ

(13)職員研修参加一覧(令和4年度)

		研修内容(外部研修)	介護員	相談員	看護員	栄養士	調理員	事務員	役職者
4月	26日	介護力向上講習会(web)	5	1					3
5月	19日	喀痰吸引研修(web)	2						
	24日	介護力向上講習会(web)	5	1					3
	26日	喀痰吸引研修(web)	2						
6月	2日	喀痰吸引研修(web)	2						
	8日	労働実務基礎講習							1
	9日	喀痰吸引研修(web)	2						
	19日	喀痰吸引研修(web)	2						
	23日	喀痰吸引研修(web)	2						
	28日	介護力向上講習会(web)	5	1	1				3
	30日	喀痰吸引研修(web)	2						
7月	6日	SDGs研修		2				1	
	7日	喀痰吸引研修(web)	2						
	15日	喀痰吸引研修(シュミレータ演習)	2						
	15日	技能実習指導員講習	1						
	16日	生活指導員講習							1
	25日	喀痰吸引研修(救急蘇生法)	2						
	26日	介護力向上講習会(web)	5	1	1				3
8月	4日	福祉現場と専門職をつなぐフォーラム							1
	23日	介護力向上講習会(web)	5	1	1				3
	29日	BCP研修①	3	1	1	1			3
	30日	安全運転管理者講習							1
9月	27日	介護力向上講習会(web)	5	1	1				3
10月	7日	BCP研修②	3	1	1	1			3
	11日	労働実務総合研修							1
	12日	生活指導員講習							1
	25日	BCP研修③	3	1	1	1			3
	25日	介護力向上講習会(web)	5	1	1				3
	27日	ソーシャルワーク実習指導員説明会(Zoom)							1
	28日	食品衛生責任者再講習会				1			
11月	1日~	社会福祉法人会計基準実践的基礎講習						1	
	4日	衣浦東部保健所管内栄養士会				1			
	10日	喀痰吸引研修(web)	3						
	17日	喀痰吸引研修(web)	3						
	18日	労働者派遣事業の適正化に向けたオンライン研修							1
	22日	介護力向上講習会(web)	5	1	1				3
	24日	喀痰吸引研修(web)	3						

12月	1日	喀痰吸引研修(web)	3						
	8日	喀痰吸引研修(web)	3						
	14日	技能実習生安全衛生対策オンラインセミナー							1
	15日	喀痰吸引研修(web)	3						
	22日	喀痰吸引研修(web)	3						
	27日	介護力向上講習会(web)	5	1	1				3
1月	12日	喀痰吸引研修(web)	3						
	24日	喀痰吸引研修(シミュレーター演習)	3						
	24日	介護力向上講習会(web)	5	1	1				3
	26日	WJU成功のセオリー修得研修							2
	31日	喀痰吸引研修(救急蘇生法)	3						
2月	17日	WJU成功のセオリー修得研修							2
	28日	介護力向上講習会(web)	5	1	1				3
3月	2日	衣浦東部保健所管内栄養士会				1			
	16日	社会福祉事業者による苦情解決制度推進研修会							1
	20日	WJU成功のセオリー修得研修							2
	28日	介護力向上講習会(web)	5	1	1				3

		研修内容(法人内部研修)	介護員	相談員	看護員	栄養士	調理員	事務員	役職者
4月	12日	経営管理者研修							1
	28日	新任GL研修							1
5月	10・24日	GL研修(専門)							8
	13日	監督者研修Ⅰ							1
6月	23日	初任者研修②	1						
7月	13日	エキスパート研修	2						
8月	23日	監督者研修Ⅱ							1
	25日	経営管理者研修Ⅱ							1
9月	5日	分野別Webネットワーク会議							2
	22日	初任者研修①	2		1			1	
	26日	分野別専門研修	3		1				1
10月	12日	分野別専門研修	4						1
	14日	特定技能・技能実習生研修	8						
	17日	分野別Webネットワーク会議							
	19日	初任者研修③	5		1				
	26日	分野別Webネットワーク会議							
11月	8・24日	GL研修(評価)							8
	17日	栄養士研修				2			1
3月	24日	新任職員研修	6						
	29日	新任職員研修	6						
	30日	新任職員研修	6						

(14) 委員会報告

①安全衛生委員会

- 毎月の衛生委員会をととして情報共有を行い衛生管理に努めた。
- 職員の健康診断を実施し、健康状態のチェック、経過観察をすることが出来た。
- 新型コロナウイルスに関する感染対策、感染予防の徹底と情報共有を行った。
- ストレスチェックを実施し、自己のストレスを把握し健全な状態で業務にあたることのできるよう努めた。また職場環境改善にも活用し、改善策を検討し実践している。

②感染症対策委員会

- 委員会を通じて手指消毒、手洗い及び消毒の励行を日常的に発信した。また、環境整備や面会制限を行い、新型コロナウイルスの感染予防の徹底に努めた。その他、胃腸風邪やインフルエンザの感染予防のための勉強会を実施した。

③リスクマネジメント委員会 及び 喀痰吸引等安全対策委員会

- 毎月の事故内容について考察し、各グループ間で情報交換を行い事故の低減に努めた。
- 施設内で身体拘束及び虐待防止、権利擁護についての勉強会を開催した。
- 喀痰吸引等安全委員会において事故の分析や実地研修の進捗状況を把握した。

④褥瘡対策委員会

- 褥瘡対策の指針に基づいて毎月のアセスメントをおこない、早期治癒に努めた。また、アセスメントシートの見直しを行い、褥瘡予防計画の作成について検討を行った。

⑤介護力向上委員会

- 愛知県介護力向上講習会に参加し、自立支援介護の継続に努め維持した。
- 現状の把握に努めるとともに、入院者の事前状況の把握をおこなった。
- 自立支援介護の理論の勉強会や習熟度確認テストをテーマごとに開催した。

⑥回想法委員会

- 回想法の技術を高めるために、委員会の中で回想法セッションを行い、来島修志先生から直接指導を受けた。

⑦環境整備委員会

- 浴室周りの環境整備等について検討し、汚物室掃除等の環境整備や必要な個所の修繕等を行った。

(15) 令和5年度施設内会議・委員会

【会議】

経営会議	
議長	管理課長
リーダー会議（入退所検討委員会含む）	
議長	業務課長
給食会議	（リーダー会議内で実施）
議長	管理栄養士
施設全体会議	
議長	次長

【委員会】

リスクマネジメント委員会 (喀痰吸引等安全対策委員会・虐待防止委員会・身体拘束適正化対策会議を兼ねる)
防災委員会
褥瘡対策委員会
介護力向上委員会
回想法委員会
安全衛生委員会
感染症対策委員会
環境整備委員会
広報委員会
祭り実行委員会

■各会議、委員会、担当者会の開催要領

- 業務課職員はいずれかの委員会に所属し、グループの代表として参加する
- 会議（施設全体会議を除く）、委員会は原則月1回以上開催する
- 開催時間は原則として1時間とする（回想法委員会・介護力向上委員会は1時間30分）
- 施設全体会議は各事業所職員を含めた全体の職員会議で、年3回開催する

■各会議、委員会での主な検討事項

- 経営会議 施設の経営に係る重要事項の承認、周知、諸問題の検討を行なう
- リーダー会議 施設の方針に基づくケアサービス全般の諸問題を検討する
入退所検討委員会を含む
- 給食会議 より良い食事の提供についての検討
- リスクマネジメント委員会 リスクマネジメントと事故分析を行う。医療的ケアに関する安全性確保の検討
虐待防止・身体拘束適正化に関する話し合い
- 防災委員会 防災・防犯活動の計画、実行、BCP見直し及び避難訓練の遂行
- 褥瘡対策委員会 褥瘡の予防と早期治癒に向けての対策を多職種で検討する
- 介護力向上委員会 自立支援介護の基本に基づいたケアの提供によりおむつゼロの維持の為の課題について検討する
- 回想法委員会 施設内における回想法の実践と職員の技術向上の学びの場
- 安全衛生委員会 職員の健康管理、事故防止等について検討
- 感染症対策委員会 感染対策BCPの策定、感染症発生の確認と予防策の検討
- 環境整備委員会 施設内の環境整備について検討
- 広報委員会 ホームページ及びパンフレットの見直しについて検討
- 祭り実行委員会 夏祭り、秋祭り等の開催について検討。

高浜安立荘デイサービスセンター

6. 通所介護実績報告(令和4年度)

(1)稼働日数

(単位:人)

月 項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	26	26	26	25	27	26	26	26	27	25	24	27	311
利用者延べ数	548	543	598	601	642	658	705	680	714	613	547	643	7,492
1日平均利用者数	21.1	20.9	23.0	24.0	23.8	25.3	27.1	26.2	26.4	24.5	22.8	23.8	24.1
利用者実人数	64	70	72	74	75	78	81	74	85	78	75	75	901
入浴提供総数	363	337	365	365	407	411	455	459	465	383	350	437	4,797
食事提供総数	547	543	598	601	641	657	705	680	714	612	547	643	7,488
新規利用者数	1	6	4	3	6	8	4	0	5	2	2	7	48

(2)年齢階層(R5.3.31 現在)

(単位:人)

	~64才	65~69才	70~74才	75~79才	80~84才	85~89才	90才~	合計
男性	0	1	1	2	4	3	4	15
女性	0	0	2	3	16	24	15	60
合計	0	1	3	6	20	26	20	75

(3)令和4年度要介護度別利用数

(単位:人)

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延べ人数	155	398	983	2,688	1,675	749	511	333	7,492
比率	2.1	5.3	13.1	35.9	22.4	10.0	6.8	4.4	100

(4)要介護度実利用数(R5.3.31 現在)

(単位:人)

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	1	2	1	6	3	0	2	0	15
女性	1	7	9	25	11	3	3	1	60
合計	2	9	10	31	14	3	5	1	75
比率	2.7	12.0	13.3	41.3	18.7	4.0	6.7	1.3	100

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも営業休止は1日に留め、可能な限り通常の受入れ体制を保つことが出来た。年間を通し48名の新規利用者を獲得出来たが、施設入所など利用終了となる方も多く、新規の受入れ数が多かったのにも関わらず実績は微増に留まってしまった。今後も高い稼働率を保つために、新規の受入れ件数を増やしていきたい。

(5)行事食・バイキング食実績

4月	にぎり寿司(4/6・25) バイキング食(4/22・28) 筍ごはん(22日)/ホタテごはん(28日) 鮭のパイ包みとローストポーク・ジャーマンポテト 春キャベツと新玉のサラダ・桜入りバナナババロア ぜんざい・ポタージュスープ	10月	だし巻き卵(10/8・24) バイキング食(10/13) 選べるカレーナン・福神漬け レタスとピーマンのサラダ クリームコロッケと帆立フライ コンソメスープ・ぜんざい ピスタチオアイス	バイキング食(10/19) 菜飯・さんまの塩焼き 冷やっこ・肉じゃが けんちん汁 抹茶アイス・ぜんざい	
5月	手こね寿司(5/17・20) バイキング食(5/5) 彩りいなり寿司・赤魚の粕漬け ふきの生姜煮・吸い物 空豆とえびのポテトサラダ 練きり・抹茶アイス	バイキング食(5/25) 巻き寿司・ひじきのしそ風味白和え 鯖の揚げおろし煮・麩の味噌汁 じゃが芋と牛肉の煮物 マンゴーアイス・ぜんざい	11月	手作り餃子(11/17・21) バイキング食(11/4・9) 鶏飯・おでん・じゃが芋ときのこの炒め わけぎの酢味噌かけ・けんちん汁 ぜんざい・黒ごまアイス	
6月	温・冷選べるうどん(6/10・16) バイキング食(6/4・27) とうもろこしのバター醤油炊き込みご飯・フライドポテト きゅうりとなすの和え物(4日)/レモン風味のグリーンサラダ(27日) もやしと香味野菜の肉巻き・牛皿 コンソメスープ・ぜんざい・いちごアイス	12月	にぎり寿司(12/21・27) バイキング食(12/12) カレーピラフ ホワイトソースかけ フライドポテト・シーフードマリネ ピザ・コンソメスープ デザート盛り合わせ	バイキング食(12/24) リースチキンライス・ピザ 星のハンバーグ・春雨サラダ コンソメスープ デザート盛り合わせ	
7月	鰻の蒲焼き(7/12・23) バイキング食(7/7) 七夕ちらし・星型ハンバーグ 焼売2種・吸い物 南瓜とチーズのサラダ ラムネアイス・ぜんざい	バイキング食(7/27) 菜飯・鮎の炭火焼き なすとオクラの煮浸し ゴーヤチャンプル・吸い物 ラムネアイス・ぜんざい	1月	海鮮ちらし寿司(1/11・27) バイキング食(1/7) 七草粥・フライ盛り合わせ 法蓮草ときのこのバター醤油炒め 菜花の辛子和え・ぜんざい 里芋の味噌汁・抹茶アイス	バイキング食(1/24) 小柱の炊き込みご飯・豆乳鍋 ぶりの味噌煮・磯辺揚げ じゃが芋のバター炒め 抹茶アイス・ぜんざい
8月	ロールパンサンド(8/19・29) バイキング食(8/9・27) サーモンのホワイトソースパスタ・夏野菜のシーフードサラダ ライスコロッケ・ビーフシチューパイ包み焼き さつま芋のハニーバナナアイス・ぜんざい	2月	手作りコロッケ(2/11・16) バイキング食(2/3) カリフォルニアロール・鬼除け汁 ごぼうと白滝の炒り煮 いわしつみれの煮物・練きり 菜花の辛子和え・ぜんざい	バイキング食(2/14) カリフォルニアロール・練きり ハートハンバーグ・春雨スープ ブロッコリーときさみのチーズ焼き ミモザサラダ・フルーツポンチ	
9月	オムライス(9/7・15) バイキング食(9/19) 赤飯・天ぷら盛り合わせ 鯛の塩焼き・吸い物 ほうれん草のごま和え 練きり・南瓜アイス	バイキング食(9/27) きのこご飯・チキン南蛮風 きゅうりと小柱のごまし和え さつま芋のベーコン巻き 味噌汁・ぜんざい・南瓜アイス	3月	天ぷら(3/7・11) バイキング食(3/3) えびのちらし寿司・雛玉子サラダ 筍とふきの煮物・すまし汁 3色ゼリー・コンソメスープ ぜんざい	バイキング食(3/20) ぶっかけ桜うどん・かつとじ煮 新玉とまぐろのサラダ 春キャベツの塩昆布炒め 豆腐の味噌汁・ぜんざい パステルマーブルアイス

(6)職員研修及び実習受け入れ状況

	研修 (施設外)	実習受け入れ
4月		
5月		
6月		日本福祉大学卒業論文作成研究
7月		高浜高等学校福祉科「介護実習」
8月		
9月	学習療法マスター研修 (Web:生活相談員兼介護員)	高浜中学校職場体験学習
10月		(桃陵高校「校外学習」)
11月		
12月		
1月	学習療法マスター指定研修 (Web:看護員)	
2月	学習療法マスター指定研修 (Web:生活相談員兼介護員)	
3月		

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の為、Webでの研修参加をすることで職員が研修を受けスキルアップできるように努めた。又、感染予防対策を行いながら実習生の受け入れや卒業論文作成研究のための学生の受け入れも行った。

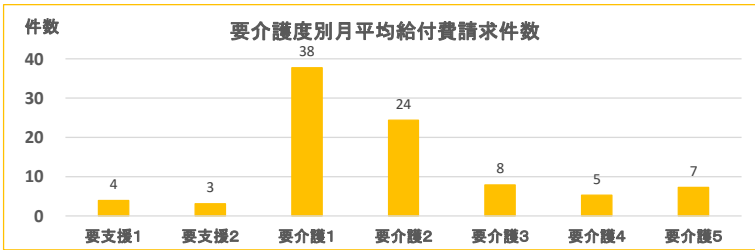
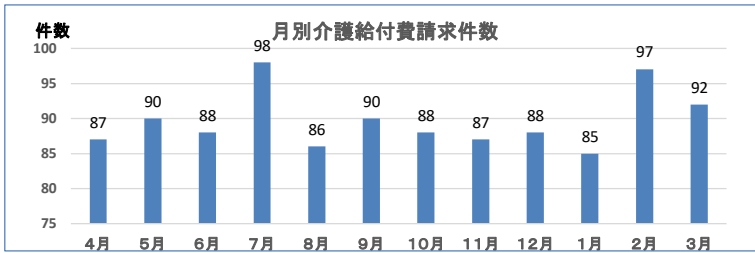
高浜安立荘居宅介護支援事業所

7. 居宅介護支援事業実績報告(令和4年度)

介護給付費請求件数(要支援・要介護度別件数)

単位:件

月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	3	3	37	23	9	4	8	87
5月	3	3	42	21	9	4	8	90
6月	4	3	37	23	8	5	8	88
7月	4	5	40	25	10	6	8	98
8月	3	4	35	24	7	7	6	86
9月	4	4	36	24	7	7	8	90
10月	4	3	38	24	7	6	6	88
11月	4	3	37	25	7	4	7	87
12月	4	3	38	26	7	4	6	88
1月	4	2	36	27	5	5	6	85
2月	5	2	42	25	10	4	9	97
3月	5	2	35	26	9	8	7	92
合計	47	37	453	293	95	64	87	1076
割合	3%	6%	40%	26%	12%	9%	4%	100%
月平均	4	3	38	24	8	5	7	90



令和4年度 相談・活動状況

単位:件

月	相談延件数	約・相談・モニタリング・訪問・契約内容	援助方法別			サ―ビス担当者会議件数担当
			直接援助		間接援助 調査・連絡調整協議	
			訪問件数	来話所・電		
4月	576	637	111	149	316	14
5月	634	692	139	139	356	19
6月	724	783	137	169	418	21
7月	713	753	132	187	394	21
8月	748	770	132	208	408	18
9月	669	698	124	167	378	17
10月	653	672	130	183	340	10
11月	657	673	113	195	349	8
12月	585	601	120	153	312	19
1月	739	748	120	236	383	9
2月	655	691	124	148	383	17
3月	690	717	123	157	410	11
合計	8043	8435	1505	2091	4447	184
月平均	670	703	125	174	371	15

令和4年度 各月契約者状況

単位:件

月	介護給付費請求件数	新規契約者	契約終了者	契約終了者内訳		
				死亡	施設入所	その他
4月	82	3	2	1	0	1
5月	84	5	2	1	1	0
6月	81	4	0	0	0	0
7月	89	3	3	2	1	0
8月	81	1	1	1	0	0
9月	84	3	8	5	2	1
10月	81	2	3	1	1	1
11月	81	3	4	1	3	0
12月	82	4	2	0	1	1
1月	79	0	2	2	0	0
2月	90	6	2	1	1	0
3月	84	2	3	2	1	0
累計	998	36	32	17	11	4
月平均	83	3	3	1	1	0

令和4年度 高浜安立荘居宅介護支援事業所 活動報告一覧

活動内容	月日	場所	主催・共催	参加者
共催研修等				
高齢者を支える家族の集い	2/9 ,3/16,	市内	高浜市地域包括支援センター、高浜市内各サービス事業所	1名
高浜市内ケアマネジャー情報交換会	6/10,9/9,12/9,3/10		高浜市地域包括支援センター、高浜市内の居宅介護支援事業所	3名
他法人合同事例検討会・研修会	9/9		高浜市社会福祉協議会居宅介護支援事業所、こもれび支援センター、高浜安立荘居宅介護支援事業所	3名
高浜市主催の会議・研修等				
高浜市高齢者サービス調整会議	毎月第1木曜日	市内	高浜市	3名
高浜市在宅医療・介護連携推進協議会 事例検討会	7/26,3/28			2名
高浜市介護予防のための地域ケア個別会議	5/17,6/21,7/19,9/20,12/20, 1/17,2/21			2名
権利擁護研修	3/22			2名
現任介護職員研修	6/20			1名
高齢者虐待研修	9/30			1名
介護支援専門員研修	10/17,11/15			2名
権利擁護研修	3/22			2名
その他の研修等				
がん性疼痛セミナー	6/14		ファミリー・ホスピス株式会社	1名
介護事業者のためのBCP策定研修	8/29,10/7,10/25		高浜安立荘	2名
働きやすい職場づくりのためのアンダーコントロール	11/14		社会福祉法人福利厚生センター、一般社団法人愛知県民間社会福祉事業職員共済会	1名
言語聴覚士による訪問リハビリ研修	3/28		小林記念病院	1名

地域密着型サテライト型

特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立

8. サテライト型特養いこいの宿高浜安立実績報告

(1) 充足率

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
日		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
R4施設の定員		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	20
① 在入所者数推移の概要	令和4年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実利用者数	20	20	20	20	20	19	19	19	20	20	19	18	234	-
	月間延日数	600	620	600	620	620	570	589	570	620	620	532	558	7,119	-
	月間請求日数	600	606	577	620	588	508	563	542	611	587	516	524	6842	-
	充足率	100.0	97.7	96.2	100.0	94.8	84.7	90.8	90.3	98.5	94.7	92.1	84.5	1124.4	93.7
② 実利用者数(名)	令和4年度	20	20	20	20	20	19	19	19	20	20	19	18	234	19.5
	市内	20	20	20	20	20	19	19	19	20	20	19	18	234	19.5
	平均介護度	令和4年度	3.15	3.15	3.11	3.11	3.11	3.06	3.06	3.00	3.06	3.25	3.13	3.14	37.33
③ 新入所者数(名)	令和4年度	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	5	0.4
	市内	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	5	-
④ 退所者数(名)	令和4年度	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	2	1	8	0.7
	市内	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	2	1	8	-
⑤ 空床理由	令和4年度	0	14	23	0	32	62	26	28	9	33	16	34	277	23
	入院期間	0	9	0	0	28	48	19	0	9	7	3	0	123	10
	外泊期間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所後期間	0	5	0	0	4	14	4	0	0	26	13	12	78	7
	入所迄期間	0	0	23	0	0	0	3	28	0	0	0	22	76	6

(2) 年間入院者数

項目 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数(人)	0	1	0	0	3	2	1	0	1	2	1	0	11
延日数(日)	0	9	0	0	28	48	19	0	9	7	3	0	123

(3) 疾患別入院者数

	実人数(人)	延日数(日)	平均日数(日)
肺炎(誤嚥性肺炎を含む)	3	35	11.7
骨折	0	0	0
心不全	0	0	0
脳血管障害	3	77	25.7
精神科	0	0	0
その他	2	11	5.5
合計	8	123	

(4) 施設内での看取り

主な疾患(死因)	肺炎	誤嚥性肺炎	脳血管障害	脳血管性認知症	悪性腫瘍	老衰	その他	合計
人数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 会議・委員会報告

委員会及び会議名	開催頻度	内容
ユニットケア推進会議	月 1 回	稼働状況を共有し、課題について検討し安定した施設運営に努める。
ユニット会議	月 1 回	各ユニットでの課題の共有と改善策の検討。
運営推進会議	6 回/年	町内会やボランティア団体、入所者家族、高浜市職員と施設の運営状況等について話し合う。
生きがい活動支援委員会	6 回/年	レクリエーションの提供により入所者の健康維持について検討。
身体拘束適正化委員会	月 1 回	身体拘束廃止への取り組みを話し合う。

高浜安立荘合同委員会及び会議名

委員会及び会議名	開催頻度	内容
防災会議	月 1 回	入所者を災害から守るため、避難訓練や BCP の作成を行う。
リスクマネジメント委員会	月 1 回	事故報告に基づき原因の検証と改善策の効果について検討。
感染症対策委員会	月 1 回	感染症について話し合い対策をする。
褥瘡対策委員会	月 1 回	褥瘡予防やケース検討を行う。
介護力向上委員会	月 1 回	Web 研修から学んだ知識の共有と実施方法を検討。
安全衛生委員会	月 1 回	職場環境の改善や KYT について話し合う。
回想法委員会	月 1 回	回想法のスケジュールや対象者の調整を図る。

外部研修実績

令和 4 年 7 月 19 日(火) ～令和 4 年 7 月 21 日(木)	ユニットリーダー研修(実地)	全国個室ユニット型施設推進協議会
令和 5 年 1 月 12 日(木) 令和 5 年 1 月 13 日(金) 令和 5 年 2 月 22 日(水)	権利擁護推進員養成研修	認知症介護研究・研修大府センター

内部研修実績

研修名	開催頻度	参加者
介護力向上 web 研修	月 1 回	介護員
介護フォローアップウェブ研修	月 1 回	ユニット職員
高齢者虐待防止研修	3 回/年	施設全職員
感染症研修	3 回/年	施設全職員
管理監督者研修	1 回/年(法人本部主催)	課長
グループリーダー研修	2 回/年(法人本部主催)	グループリーダー

9 交通のご案内

【交通のご案内】



公共交通機関をご利用の場合…名鉄三河線「吉浜駅」下車 徒歩 15 分

高浜安立荘

〒444-1335

愛知県高浜市芳川町 1-2-73

介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】 Tel (0566) 52-5050 Fax (0566) 52-5599

通所介護事業所 Tel (0566) 52-5517

居宅介護支援事業所 Tel (0566) 52-9875

地域密着型サテライト型特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立

〒444-1335

愛知県高浜市芳川町 3-1-6

地域密着型介護老人福祉施設生活介護 Tel (0566) 54-0522 Fax (0566) 54-0523

